

消化器外科 I に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] AFP 産生胃癌からの肝転移に対する肝切除 4 例の検討

[研究機関] 北海道大学病院消化器外科 I （病院長 寶金 清博）

[研究責任者] 消化器外科 I 准教授 神山 俊哉

[研究の目的]

転移性肝癌でも大腸癌からの転移は切除の適応となることが多く、良好な成績も示していますが、胃癌からの転移性肝癌は切除適応となることが少ないのが現状です。今回、AFP 産生胃癌からの肝転移 4 例に対して肝切除を行い、良好な成績を示したので、AFP 産生胃癌からの肝転移に対する肝切除の意義を検討しました。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2000 年 1 月から 2014 年 9 月まで当科で切除された AFP 産生胃癌からの肝転移で切除を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、前治療の有無、検査結果（血小板数、PT、アルブミン、ICG-R15 値、総ビリルビン、AFP、PIVKA-II）、術前 child-pugh 分類、肝障害度、手術術式、手術時間、出血量、輸血の有無、再発の有無、予後、画像診断結果（CT, MRI, エコー 99mTc-GSA シンチ）、病理検査所見

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院消化器外科 I 担当医師 神山 俊哉

電話 011-706-5927 FAX 011-717-7515